

中国の超リッチな人々

江原 規由 *Noriyoshi Ehara*

(財)国際貿易投資研究所 研究主幹

要約

中国を世界第二位の経済大国に躍進させた原動力は改革開放政策であるが、その理論的支柱の一つに「先富論」(本誌2011年秋号(No.85)51ページ参照)がある。中国には、他に先駆けて豊かになった地域、企業があり、人たちがいる。本稿では、「先富論」を実践した「富豪」にスポットをあて、中国経済・社会のダイナミズムの一端を、筆者の煙台市訪問での経験を踏まえて紹介する。

1. 山東省煙台市で感じた先富論 と今年の長者番付の関係

山東半島の開放都市煙台市から南西に60kmほど行くと、栖霞市(煙台市所属)に着く。そこには民間の小故宮と称せられる「牟氏荘園」がある。かつてのここの荘園主は広大な不動産を所有し、その邸宅は部屋・楼閣数など480室を有していた

という。当時の活気が微塵も感じられないこの観光地化した大邸宅を見ていると、往時の牟氏が小宇宙とも表現できる広大な荘園の経営で天文学的な富を所有していたことがひしひしと伝わってきた。「私はこの上で生まれた」と古びたベッドを指さす直系子孫の現「荘園主」は、「解放後、国家に全財産を寄贈した」と続けた。彼を見ていて栄枯盛衰の世の常をふと感じてしまった。

(1) 富豪への打ち出の小槌は不動産

今年9月、胡潤（フージワーフ）研究院が恒例の中国富豪番付を発表した。ここ数年の長者番付の特徴は不動産関係者が上位を占めていることである。今回の発表をみると、上位10傑の富豪のうち5人までが不動産関係者で、富豪1000人のうちでは23.5%を占めている。今も昔も、不動産は蓄財への「打ち出の小槌」といっても差し支えない。

胡潤研究院の長者番付

英国人のルパート・フージワーフ氏が1999年、個人的な趣味で中国大陸部の長者番付を作成し今日に引き継がれている。国内外で最も注目度の高い中国の長者番付となっている。個人長者番付のほか、中国で最も尊敬されている企業家、ブランド、女性富豪、社会貢献、外来人富豪、作家収入などに関する番付も発表している。米フォーブス誌も毎年同様な長者番付を発表しており、両者には番付や資産額などに違いがある（第1表参照）。

なお、胡潤研究院発表や米フォーブス誌のほか、米フォーチュン誌、中国企業連合会、中国企業家協会、香港上海銀行、社会科学院中国各機関からも各種番付が発表されている。

(2) 不動産開発の現場

栖霞市から北東へ60kmほど行くと、やはり煙台市所属の県級市龍口市がある。中国を代表する港湾を有する人口60余万の同市は、秦の始皇帝の命を受け不死の生薬を求めて日本へ渡ったとされる徐福が出航した伝説の地でもある。

栖霞市から龍口市に向かう高速道路をしばらく走ると、左手に目を奪われるほど広大な高層マンション群が農地の上に蜃気楼のように忽然と姿を現す。「南山・世紀花園」と名づけられたこのマンション群（開発建設規模約120万㎡）は、完成後は周辺の農民20万人の住居（一部を一般向けにも販売）とし彼らの農地を再開発する予定とのこと。

この高層マンション建設を手がけているのが、龍口市に根拠を置き、不動産開発、建材、教育など多角経

人工島群埋立プロジェクトの建設現場



営している南山集団である。2011年の中国企業富豪番付にも上位にリストアップされている中国山東省を代表する企業である。

南山集団が手がけているさらに大きなプロジェクトが人工島群埋立プロジェクト（総面積 44 埋 Km^2 、埋立地部分 35Km^2 ）である。このプロジェクトは、2014 年までに 10 万人に就業の機会を提供し、30 万人が住む海上新都市をつくるという。目下、こうした広大なプロジェクトは、山東省煙台市に限らず、中国全土津々浦々で展開しており、近年の不動産関係者・企業が富豪番付に登場する現実が実感できる。

2. 胡潤研究院発表の長者番付からみた中国の富豪

表 1 は、胡潤研究院が発表した

2011 年版の中国長者番付の上位 10 人であるが、同長者番付（1000 万元以上の資産を所有する富豪）は、概ね以下の 6 点に整理できる。

○1000 万元以上の富豪（2010 年末時点、31 省・直轄市・自治区）：96 万人（うち、1 億万元以上富豪約 6 万人、10 億元富豪約 4000 人、100 億元富豪約 200 人）

○富豪本拠地：最多は北京市、以下、広東省、上海市（この 3 地域で 1000 万元以上の富豪総数の約半数）、浙江省、江蘇省、福建省、遼寧省、四川省、河南省が上位十傑

○富豪の富の来源：企業経営 55%（約 55 万人）、不動産関連ビジネス 20%（約 20 万人）、商業投資家 15%（約 15 万人）、ゴールド

カラー層（大型企業集団・多国籍企業の高級管理職など）10%（約10万人）。

また、中国の富豪の富の来源における順位構成を世界の富豪のそれと比較すると、中国富豪では不動産、製造業、新エネルギーで抜きんでており、レジャー・文化、小売分野で後塵を拝しているという調査結果がある^{注1}。

即ち、中国の富豪は、企業主、不動産ビジネス関係者が中心で、中国人1400人中1人が1000万元以上の資産を有し、沿海省・直轄市に集中しているということになる。さらに、

○富豪の平均年齢：39歳（資産1億元以上では43歳）

若い富豪が多く、親から財産を相続したケースが目立つ。中国では、「富二代」といわれるが、そうした若い富豪は、概して、教育水準が高い（留学組が多い）。なお、一族経営企業の98%は裸一貫からのたたき上げ企業であり、その6割超が身内に財産相続をさせた意向にある。

○公職関係者が目立つ

公職についている富豪は1000人中152人、上位50傑では30%を占めた。うち、全人代代表（日本の国会議員に相当）は75人、また、全国政協委員（同前）は71人、党大会代表7人など。

○富豪の男女比：7：3

富婆（女性富豪）の進出が関心を持っている。胡潤研究院の長者番付にリストアップされた富豪1000人のうち女性は156人で過去最高。女性富豪上位50傑の富婆の平均年齢は48歳と若く、このうち、無一文から事業を築き上げた女性富豪は33人。胡潤女性長者番付^{注2}の資産額に基づくと、無一文から事業を築き上げ10億ドルの資産を保有する世界の女性富豪28人のうち、中国女性が18人を占めたとの報道もある（人民網 2011年9月29日）。

中国富豪の「中国らしさ」を取ってあげれば、若い、公職関係者、女性ということに集約できよう。

表 1 2011 年版中国富豪 10 傑

単位：億元 1ドル=6.38元 (1元≒12円)

富豪名 (年齢)	財産額	所属企業	業種	米フォーブス誌 長者番付上位 10 傑
梁穩根 (55)	700	三一集団 ^{注3}	重型機械	梁穩根 (594)
宗慶后家族 (66)	680	娃哈哈	飲料	李彦宏 (588)
李彦宏 (43)	560	百度	検索サービス	劉永行 (434)
嚴彬 (57)	500	華彬	不動産、投資、 紅牛	劉永行家族 (421)
許家印 (53)	460	恒大	不動産	宗慶后 (415)
王健林 (57)	450	万達	不動産	許家印 (396)
吳亜軍 (47)	420	龍湖地産	不動産	吳亜軍 (377)
劉永行家族 (63)	410	東方希望	酸化アルミ、重 化工、飼料	張近東 (蘇寧集 団, 358)
何亨建家族 (69)	400	美的	家電	何亨建 (351)
楊惠妍家族 (30)	360	碧桂園	不動産	邱光和家族 (森馬 服飾, 306)

出所：胡潤研究院「2011 年富豪番付」

2. 歴代のトップ富豪の特徴とその後

表 2 は、胡順研究院が富豪番付けを発表した 1999 年から 2011 年までの 13 年間のトップ富豪をリストアップしたものである。トップ富豪のタイプは以下の 5 タイプに集約できる。

○立身出世型

中国のトップ富豪には無一文から富を築いた人が多い。例えば、

劉永行氏。四川省の公務員だった彼は養鶏業からスタートし東方希望集団を中国最大の飼料企業にまで育て上げた。わずか十数人の民営企業を米ナスダックに上場するまでに育てた丁磊氏。広東省の貧しい農村から飛び出し中国版「ビックカメラ」(家電量販店)を築いた黄光裕氏。香港に出て古紙の回収リサイクルから身を起こした張茵氏(女性)。梁穩根氏は湖南省の農家出身で中国

の建設ラッシュの波にのって中国を代表する企業を育てた。

○公職兼務型

鄧小平との密接な関係などから「赤い資本家」の異名を取った栄毅仁氏。彼は改革開放で国策会社「中国国際信託投资公司（CITIC）」を設立。外資導入を積極的に推進し国家副主席にも選出された。栄智健氏は栄毅仁の子息であり、多角経営の中信泰富はCITICの投資持ち株会社。

○富2代型

代表は楊恵妍氏（女性）。父親が創業した不動産会社「碧桂園」の株式の7割を譲渡される。香港証券取引所に上場し株価急騰で資産が100倍に膨れ上がった。

○高学歴型

王傳福氏は中南工業大学卒業後、北京金属研究所で主任、副教授を歴任。宗慶后氏は浙江大学MBA

○落馬型

胡潤研究院の長者番付にリスト

アップされた富豪のうち、不正が発覚しトップ富豪の座や富豪の地位を失う人（落馬者）が後を絶たなかった。そうした状況をもじって、胡潤研究院の長者番付は中国語で「殺猪榜」（トサツ番付、落馬者番付）^{注4}と皮肉られている。その代表はトップ富豪に3回輝いた黄光裕氏。不正取引などで2010年4月、一審で懲役14年、罰金16億元、2億元相当の財産没収の刑を宣告され今なお係争中。栄智健氏も経営陣の虚偽報告、詐欺行為などの容疑で当局から取調べを受けたことを受け2009年4月に引責辞任している。

胡潤研究院によれば、長者番付13年の歴史において、落馬者は長者番付に乗った1300余人のうち24人とのこと。実際、落馬はしていないが、不正蓄財で富を築いた富豪は少なくないはず。胡潤の長者番付が「殺猪榜」と名づけられていること自体が、隠れ落馬者が多いことを如実に物語っているといえよう。

表2 1999年以来の歴代トップ富豪

年	名前	資産額	所属企業	業種／その他
1999	榮毅人	10億米ドル	中国国際信託投資公司 (CITIC) 創設者	総合（投資ファンド等）
2000	榮毅人家族	19億米ドル	中国国際信託投資公司 (CITIC) 創設者	総合（投資ファンド等）
2001	劉永行兄弟	83億元	東方希望集団	農業（飼料等）・アルミ業
2002	榮智健	8.5億米ドル	中信泰富（CITIC パシフィック）会長	総合（投信ファンド等）
2003	丁磊	75億元	網易創設者	ポータルサイト運営企業
2004	黄光裕	105億元	国美電器	小売（家電量販店）、不動産
2005	黄光裕	140億元	国美電器	小売（家電量販店）、不動産
2006	張茵	270億元	玖龍紙業会長	包装紙、製紙業
2007	楊惠妍	1300億元	碧桂園執行役員	不動産
2008	黄光裕	430億元	国美電器	小売（家電量販店）、不動産
2009	王傳福	350億元	比亞迪股份有限公司総裁、創設者	自動車、携帯電話、充電電池
2010	宗慶后	800億元	杭州娃哈哈集団会長	消費品（清涼飲料水企業）
2011	梁穩根	700億元	三一集団	重型機械

出所：胡潤研究院発表の各年「富豪番付」より作成

3. 2011年企業番付け

中国企業聯合会が発表した「中国企業500傑」の顔ぶれには、この数年大きな変化はない。2011年の企業番付けの特徴を2010年と比較する

と、番付順位に変更があった企業は60社で、そのうち、企業合併などの再編成（12社）のため26社が番付から外れた。そのほか、国有企業が316社（金融、資源、通信、インフラ、自動車関係が上位）で民営企業

表3 中国企業20傑

	企業名	営業収入		企業名	営業収入
1	中国化工石油集团公司	1兆9690億元	11	中国銀行股份有限公司	4002億元
2	中国石油天然ガス集团公司	1兆7208億元	12	中国建築股份有限公司	3704億元
3	国家電網公司	1兆5288億元	13	東風汽車公司	3688億元
4	中国工商銀行股份有限公司	5450億元	14	中国南方電網有限公司	3685億元
5	中国移动通信集团公司	5190億元	15	上海汽車工業（集团）総公司	3672億元
6	中国中鉄股份有限公司	4736億元	16	中国海洋石油総公司	3547億元
7	中国鉄建股份有限公司	4701億元	17	中国中化集团公司	3353億元
8	中国建設銀行股份有限公司	4540億元	18	中国第一汽車集团公司	2940億元
9	中国人寿保險〔集团〕公司	4375億元	19	中国交通建設股份有限公司	2735億元
10	中国農業銀行股份有限公司	4079億元	20	宝鋼集团有限公司	2729億元

出所：2011年版中国企業500傑（中国企業聯合会・中国企業化協会）

を圧倒していること、500傑入りするための資産額が上昇（2010年比28.1%増<141億元>）したことなどが指摘できる。

4. 中国富豪の衣・食・住・行・用

最後に、中国富豪の日常や嗜好、即ち、衣・食・住・行・用について、

一般人民と比較しつつ紹介したい。古来から「衣食足りて礼節を知る」ということわざがあるが、「衣食」については、富豪に際立ったパターンがあるわけではない。「住行用」となると、富豪との違いがかなり明らかである。日本人には、「衣食住行用」の「行」と「用」は馴染みが少ないと思われるが、筆者の解釈で

は「行」は旅行、行楽、行動などの「行」でレジャーと大いに関係がある。「用」は使用の「用」に代表させたい。概して、消費パターンを指すといえる。

(1) 三種の神器の変遷

改革開放が始まった 70 年代には、いわゆる富豪は存在しなかった。人民にとっての「富」の象徴は、その時々の「三種の神器」であったといっても過言ではない。

中国に驚異的な高成長をもたらした改革開放政策（1978 年 12 月）が採られた 70 年代、人民の「三種の神器」は、自転車（有名ブランド：鳳凰、永久）、ミシン（胡蝶、蜜蜂）、腕時計（梅花、北京）であった。80 年代になると、冷蔵庫（新飛、雪花）、カラーテレビ（牡丹、日立）、洗濯機（水仙、威力）、そして、90 年代は、エアコン（三菱、格力）、ステレオ等音響機器（愛華、松下）、ビデオテープ・レコーダー（JVC、ソニー）となった。

蛇足になるが、この時代の「三種の神器」には日本製品が多く、中国人民にとって、日本製品は富の象徴

でもあった。

こうした「三種の神器」は時代と共にその価値を高めてきている。中国に富豪の存在が目立つようになる 2000 年以後、人民にとっての「三種の神器」はマイホーム（住）、マイカー（行）の二つは定着しているが、もう一つがはっきりしない。株券、海外旅行、パソコン、そして、保険加入、高等教育などがその候補（用）といえる。

中国経済週刊（2011 年 11 月 1 日）の試算によれば、当事の一人当たり可処分所得とエンゲル係数をもとに計算すると、都市住民 1 人が 70 年代（78 年）に「三種の神器」を全てそろえるには 3 年程度、80 年代（82 年）9 年程度、90 年代（平均）10 年程度、そして 2010 年にはマイホーム、マイカーの「二種の神器」だけでも、実に、121 年程度が必要とのことである。

では、富豪はどうか。胡潤研究院の長者番付から富豪の平均的資産をみると、

企業経営：企業関連資産 65%、資産
価値 200 万元以上の自宅、

30 万元の車、120 万元以上の投資資産(金、株券、その他)を所有

不動産関連：投機性不動産資産 60%、資産価値 250 万元以上の自宅、30 万元の車を所有、美術品を所蔵。多くが 10 年前から不動産ビジネスに着手

商業投資家：株式投資資産 60%、資産価値 300 万元以上の自宅、50 万元の車を所有
ゴールドカラー層：投資資産 40%、資産価値 300 万元以上の自宅、50 万元の車を所有

富豪の「住」は超豪華マンション・邸宅、「行」はスーパーカー、「用」には、投資資金、美術品、不動産売買などが入ることになる。

また、蛇足になるが、中国富豪「行」がスーパーカーからプライベートジェット機に変わる日が近い将来来るかもしれない。広州日報(2011年9月12日)によれば、現在、中国では、プライベートジェット機の登録機数が150機で、その数は今後年率20%以上で伸び続け、10年後には米国を

追い抜き世界一のプライベートジェット機の保有国になると報道している。

(2) 投資移民

今、富豪の「住行用」で話題となっているのが、「投資移民」である。胡潤研究院が発表した「2011 中国私人财富管理白書」によれば、「中国の1000 万元富豪の46%が移民のための出国を考えており、既に14%が実行、約3分の1(訪問調査)が海外投資を開始している」という。中国国内では、この投資移民により富豪の資産が海外に出て行き中国経済に影響を及ぼすのではと危惧する声もある。さらに、同白書は「海外資産をもつ富豪は全体の3分の1(可処分投資の14%)で、その多くが不動産投資によるものである」としている。この点、投資移民は、今流行の富豪が子息や親戚縁者を海外に住ませ高等教育や水準の高い医療などよりよい教育・社会環境を得るための投資であることも忘れてはいけない。

米務省のデータによると、2009年に米国で50 万ドル以上の投資に

より永住資格が認められる「EB-5」ビザを取得した外国人のうち、中国からの投資移民が急拡大し、全体の46%強となったとのこと。米国の不動産不況への対応策ではあるが、米国で50万ドル以上の不動産(住宅など)を買えば、米国に永住できる権利が得られることになる。米国の政策と中国富豪の思惑が一致しての投資移民の増加ということになる。こうした中国富豪の投資移民は、米国のほかオーストラリア、カナダで

も増えている。

「住」は住宅など不動産、「行」は出国、そして、「用」は教育、医療などへの投資ということになる。投資移民は富豪の「住」、「行」、「用」を兼ね備えているといえよう。さて、富豪の三種の神器であるが、「プライベートジェット機」はさておくとして、「投資移民」は、その一つにリストアップできるのではないだろうか。

注1 中国と世界の富豪における富の来源の比較表（上位10分野）

中 国	世 界
①不動産 (23.5%)	①金融・投資 (19.2%)
②製造業 (19.1%)	②資源 (9.1%)
③金融・投資 (6.7%)	③レジャー・文化 (9.1%)
④エネルギー (6.5%)	④不動産 (9.0%)
⑤IT (5.8%)	⑤小売 (8.9%)
⑥新エネルギー (5.6%)	⑥IT (8.8%)
⑦医薬 (5.5%)	⑦製造業 (8.5%)
⑧アパレル・紡績 (5.1%)	⑧食品・飲料 (5.6%)
⑨社会サービス (4.6%)	⑨社会サービス (4.1%)
⑩小売 (4.2%)	⑩医薬 (4.0%)

出所：胡潤研究院等の発表を基に広州日報（2011年10月31日）が報じたもの

注2 女性富豪長者番付（上位十傑）

単位：億元

名前	資産額（年齢）	所属企業	業種／その他
吳亜軍家族	420（47）	龍湖地産	不動産
楊恵妍家族	360（30）	碧桂園	不動産
陳麗華	330（70）	富華	不動産、紫檀博物館
張茵家族	280（54）	玖龍パルプ	包装紙
張欣、潘石屹（夫）	210（46）	SOHO 中国	不動産
秀麗・好肯家族	205（48）	人和商業	商業不動産、農業
張静、黄茂如（夫）	185（不詳）	茂業集団	不動産、小売
朱林瑤	170（41）	華宝	香料エッセンス
範朝霞	130（44）	京運通	太陽電池用半導体材料・部品等
路小梅、楊雪崗（夫）	130（不詳）	旭陽控股	コークス業、金融

出所：胡潤研究院「2011年版女性長者番付」

なお、英フォーチュン誌が発表（2011年11月16日）した中国ビジネス界で最も影響力を有する女性25傑のうち上位10傑は、

- ①孫亜芳（華為会長）：世界的な通信機器メーカー
- ②董明珠（珠海格力会長・総裁）：空調メーカー、水晶時計、音響・TV、交通・不動産等
- ③楊綿綿（ハイアール総裁）：世界一の家電生産メーカー
- ④謝企華（国新会長）：国務院国有資産監督管理委員会設立の第三番目の国有資産管理会社

- ⑤張欣（SOHO 主席執行官・連帯創業者）：不動産私営企業大手
- ⑥王鳳英（長城汽車総裁）：中国最大の民営自動車メーカー
- ⑦肅潔雲（SAP 中国地域総裁）：ERP市場最大手のソフトウェアメーカー
- ⑧吳亜軍（龍湖地産執行理事・役員会主席）：重慶市の不動産企業
- ⑨鄭潔（クライスラー（中国）自動車販売総裁・社長）：自動車生産企業
- ⑩俞渝（当当網会長）：ネット販売会社

世界的にも知名度のある中国企業の
トップが多い。また、25 傑のうち、3
人が家電業界、9 名が金融・投資業界
(中国国有大型商業銀行) となっ
ている。

注3 富豪トップとなった梁穩根氏の率い
る三一集団は、3 月に日本を襲った東
日本大震災後、福島第 1 原発を冷却す
るため、地上 62m から注水可能なボ
ンプ社を日本に寄贈している。

注4 中国語で「殺猪榜」の猪は豚のこと、
榜は番付・リストを意味する。余談だ
が、胡潤長者番付が「殺猪榜」と呼ば
れていることに、事実を反ずるとして
いたルパート・フージワーフ氏は、
2011 年に初めて実際の「殺猪榜」を
発表した。それによると、トップは雨
潤食品集団(豚肉製品を販売する中国
の肉加工大手企業)の 2500 万頭。同
集団のトップは、祝義才会長。